

第 2 1 1 回 教育研究評議会議事要録

日 時 令和 3 年 1 2 月 1 4 日 (火) 1 6 時 0 0 分～1 6 時 4 5 分

場 所 大学本部棟 5 階第 1 会議室 (TV 会場：医学部管理棟 2 階学長室)

出席者

(評議員) 島田学長、清水理事、中村理事、松川理事、熊田理事、榎本理事、風間理事、市川理事、岩崎副学長、黒澤副学長、茅副学長、古家教育学域長、平田医学域長、中山工学域長、奥田生命環境学域長、大隅附属図書館長、服部・田中・中尾・谷口・小谷・武井・岸上・石平・佐藤・飯山 各教授

(列席者) 齋藤監事、八巻監事、内藤クリエイティブマネージャー、志村特命部長、石原総務部長、池田施設・環境部長、窪田教学支援部長、渡邊研究推進部長、野中医学域事務部長

望月企画課長、中村監査課長、石井総務課長、田村施設企画課長、佐藤教務企画課長、望月研究推進課長、網倉教育学域支援課長、田中生命環境学域支援課長

海老名総務課長補佐

議事要録確認

第 210 回教育研究評議会 (3. 11. 16 開催) 議事要録を確認した。

報告事項

1 大学間連携共同教育推進事業継続にかかる協定書について

中村理事から、資料 1 により、2012 年度に本学を含む 8 国立・私立大学が採択された「学士力養成のための共通基盤システムを活用した主体的学びの促進」事業について、補助期間終了後も協定を結び継続して事業を実施しており、引き続き連携を進めていくため、新たに協定書を締結することについて報告があった。

2 令和 2 年度に係る業務の実績に関する評価結果について

清水理事から、資料 2 により、国立大学法人評価委員会から標記評価結果が通知・公表されたこと及び評価結果の概要について、以下のとおり報告があった。

- ・「業務運営・財務内容等の状況」の 4 項目のうち、「業務運営の改善及び効率化」の項目で国立大学で唯一「特筆すべき進捗状況にある」と評価され、他の 3 項目は「順調に進んでいる」と評価された。
- ・「大学等連携推進法人の認定を受けた連携開設科目等の整備」(大学アライアンスやまなし) が好事例として資料で紹介された一方、「入学者選抜試験における出題ミス」が課題として取り上げられた。

また、同委員会から公表された「他大学等の取組事例」を参考に、今後の本学の各種業務に取り組む際に活かしていただきたい旨の説明があった。

3 大学機関別認証評価訪問調査の結果等について

清水理事から、資料 3 により、11 月 15 日 (月) に実施された (独) 大学改革・学位授与機

構による標記調査の結果等の概要について報告があった。なお、「改善を要する点」として以下4点が挙げられたものの、2点是对応済であること、残り2点は、改善措置（カリキュラムポリシーや学内規則等の改正等）を本日の本会議で議論いただき、了承されることによって、最終評価結果には反映されない予定である旨、報告があった。関連して、評価結果については、令和4年1月に原案が示され、意見申し立て期間を経て同年3月に確定・公表される予定である旨、あわせて報告があった。

また、本評価を通じて教学マネジメント体制の一部に課題があることが明らかとなったことから、資料に基づき改善に向けて取組を強化することの説明があった。

4 大学院担当教員の手当の見直しについて

清水理事から、資料4により、大学院に係る中期計画策定作業の過程で、大学院担当教員の手当（俸給の調整額）の支給方法等について課題が明らかになったことから、今後は、メリハリを付けた手当となるよう支給方法等を見直し、大学院教育の充実（教員の意識涵養）及び経営改善に繋げていくことの報告があった。なお、見直しにあたっては教育研究評議会を通じて各学域からの意見を踏まえて進めていく旨の報告があった。

報告事項5～12（資料5～12）については、新型コロナウイルス感染症防止の観点（会議時間短縮）から、説明を省略して各自確認することとし、意見等がある場合は、担当理事に連絡願うこととした。

- 5 役員会の開催状況について（資料5）
- 6 大学院総合研究部会議の開催状況について（資料6）
- 7 助教の採用報告について（資料7）
- 8 学生の学籍異動について（資料8）
- 9 令和3年度卒業（修了）予定者進路状況について（資料9）
- 10 令和2事業年度財務報告について（資料10）
- 11 令和3年度予算の執行状況について（資料11）
- 12 施設の現状と課題2021について（資料12）

13 令和3年度電気使用量及び使用金額について

熊田理事から、資料13により、電気使用量について、10月分よりキャンパスごとではなく、各学域、センター、附属施設ごとに集計したものを報告すること、「本部・その他」区分には、地域人材養成センター、学生サポートセンター等が含まれていること、「本部・その他」区分に含まれているセンター等の中で使用量が特に多い場合には独立した区分を作成することについて報告があり、併せて、引き続き節電にご協力願いたい旨依頼があった。

審議事項

1 教員の採用（昇任）選考（案）について

松川理事及び平田医学域長から、資料14及び机上配付資料により、次の教員に係る選考経緯等について説明があり、審議の結果、これを承認した。

- ・令和4年4月1日昇任 医学域看護学系 准教授1名（公募）

- ・令和4年4月1日昇任 医学域看護学系 講師1名（公募）

なお、島田学長から、添付する資料について、精査するよう発言があった。

2 認証評価の訪問審査における追加確認事項について

中村理事から、資料15により、11月15日（月）に実施された（独）大学改革・学位授与機構による標記審査において、「改善を要する点」として挙げられた4項目のうち、2項目については既に改善済（根拠資料等を機構に提出済）であるものの、未対応の2項目については、それぞれ、以下のとおり改善することの説明があり、審議の結果、これを了承した。

- (1) 学修成果の具体的な評価の在り方を全教育課程のカリキュラムポリシーに追記し、全教育課程の「カリキュラムポリシー」を改正することとした。
- (2) 成績評価基準に関して評語の判断基準を関係規定に反映し、「GPA制度及び履修登録単位数の上限制度に関する要項」、「山梨大学大学院医工農学総合教育部GPA制度に関する要項」を改正することとした。

3 工学部改編の方向性について

清水理事から、資料16により、工学部に係る課題への対応等のため、現在の7学科を1学科複数コース制に改組し、本学の強みであるクリーンエネルギー分野をコースに位置付けるほか、入試方法を含め検討すること、また、改組に関して第4期中期目標・中期計画に反映（修正）すること、学域の運営課題に対応するため機能強化対策WGを設置することなど、改編の方向性について説明があり、審議の結果、これを承認した。

関連して、工学部改組にあっては、教教分離（教員組織と教育組織の分離）のメリットを活かした運用を行うことで、学生主体の教育を実現することの説明があった。

4 第3期中期目標期間に係る終了時評価への対応について

清水理事から、資料17により、令和4年度に第3期終了時評価を受審するにあたり、令和3年度内を目途に、評価室（企画課）と関連事務・学域とで連携を取りつつ「達成状況報告書」、「業務の実績に関する報告書」の原案を作成することについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

なお、「達成状況報告書」については大学改革支援・学位授与機構へ、「業務の実績に関する報告書」については国立大学法人評価委員会へ、それぞれ令和4年6月30日（木）までに提出する旨併せて説明があった。

5 令和4年度山梨大学・読売新聞社共催連続市民講座（案）について

島田学長から、資料18により、2022年度のテーマを「知る喜び ーひと・くらし・けんこうー」としたこと、テーマに沿って講師10名を推薦したこと、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から令和4年度は「オンライン開催」もしくは「対面・オンライン（ハイブリッド方式）開催」を検討中であること、後日、教学支援部教務企画課から担当講義日の調整や講演概要の作成依頼等の連絡を行うことについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

6 施設・スペースの使用許可申請（案）について

熊田理事から、資料 19 により、ワイン科学研究センター増築に伴う申請 15 件及び学修環境改善に伴う申請 1 件について説明があり、審議の結果、これを承認した。

※次回会議 令和 4 年 1 月 18 日（火）16 時 00 分からの開催を確認した。